

## 決算審査特別委員会

第62号議案・平成28年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について及び第63号議案・平成28年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定についての2議案は、定例会2日目(9月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員(小川正人)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・伊藤勝美、副委員長・平間知一)は、9月12日に現地を調査し、9月12日及び13日の2日間にわたり審査を行い、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

### 一般会計

#### 総務費

〔質疑〕わいわいトーク(自治会長と市長の地区懇談会)について、新しい市長を囲んでどのような意見が出されたのか、主なものを伺う。

〔答弁〕平成29年1月に全力所で開催し、さまざまな意

見が出たが、一番多かった意見は「イノシシの被害について」、6地区から出された。その他には、「地域の活性化について」、「人口減少対策について」、「刈田総合病院について」、「市民バスについて」、「学校統合について」、「企業誘致について」などが出されている。

〔質疑〕オーストラリア友好親善訪問派遣事業について、姉妹都市のハーストビル市が

合併し、ジョージズリバー市となったが、今年度同様、今後もカウラ市へ中学生の派遣を行うのか、ジョージズリバー市との姉妹都市締結の継続を検討し派遣を行なっていくのかについて伺う。

〔答弁〕中学生派遣事業については、姉妹都市のハーストビル市が合併したことから、前年度と今年度はオーストラリアのカウラ市に中学生を派遣しており、今までどおりホームステイ等を通して実績を上げている。

できれば、この事業は継続したいと考えており、ジョージズリバー市の市長が9月に選出されると聞いていることから、今後、動向を探りながら姉妹都市の継続ができるよう検討していきたい。

〔質疑〕移住フェアの参加について、昨年度は各地のイベントに5回参加し、52組、65人の方が訪れたとのことだが、このフェアがきっかけで白石市に移住された方がいたかどうかについて伺う。

〔答弁〕フェアの参加により白石市に移住された方は、今のところ確認できていない状況である。

フェアの参加については、まずは白石市という名前を知っていただく、そこでPRを行い白石市を理解していただき、移住を考えていただくという趣旨のもとで取り組んでいる。

### 民生費

〔質疑〕介護ロボット導入促進事業について、導入した事業者からどういった意見、感想が出ているのか伺う。

〔答弁〕介護ロボット導入については、昨年度は3法人、4事業所に国の補助を活用し助成を行なっている。

導入に対する効果として事業者からは、「歩行アシストカート」については、移動時に身体介助を要していた者が、見守りと声がけのみとなり、負担軽減が図られ、「見守りベッド」については、離床センサーにより、本人が起き上がりたいときに迅速に対応で

きるようになり、頻回な見守りを行わなくても済み、負担軽減が図られているといった意見をいただいている。

また、「マッスルスーツ」については、腰への負担が軽減される一方、装着に時間を要するため、さらに軽量化、小型化の改善を希望するといった意見をいただいている。

### 衛生費

〔質疑〕任意予防接種費用助成について、中学3年生のインフルエンザ任意接種の人数が264名とあるが、これは全体の何%か。また、接種した効果について伺う。

〔答弁〕任意接種の割合については、対象者が302名、うち接種者が264名であることから72.9%となる。効果については、特に把握はしていない。

〔質疑〕予防接種した中で、副作用の症状などは見られたか伺う。

〔答弁〕予防接種による副作用や事故等の報告はない。